

Medical News

基本理念

私達は、患者様とその御家族の立場に立った医療の推進に努めます

年末のご挨拶

年の瀬を迎え、なにかと慌ただしい時期となりました。

さて今回のメディカルニュースでは、前半部分で当院の診療体制について、後半部分で地域医療連携への取り組みについて、これまでの動き、現状、今後などを含め書かせて頂きます。

今年はこれまで以上に、医師の異動が多い年となりました。

まず2月に、山野智子先生が内科医長に着任しました。先生は内科一般に加え、肺炎を中心とした呼吸器疾患や感染症の他に、糖尿病・代謝疾患なども幅広く診療しています。それと共に、消化器疾患も専門にしており、上下部内視鏡検査や肝胆膵疾患の内科診療部門も担当しています。

呼吸器内科では、山口真弘先生が3月末で退職し、小豆島中央病院へ栄転されました。

それに伴い4月に、香川大学血液・免疫・呼吸器内科学教室から、田所明先生が呼吸器内科医長に着任しました。先生は卒後9年と当院では最も若い医師であり、フレッシュさとエネルギー感が光る、頼りになる先生です。

年の前半はこのような動きで、当院の診療機能はこれまで通りに維持できていましたが、夏以降、循環器内科部門に大きな動きがありました。まず9月に植木敦先生が岡山大学へ、10月には辻哲平先生が香川大学へそれぞれ帰局されました。岡山大学・香川大学ともに医局の事情により、代替りの常勤医師を派遣することが難しく、二人の先生には当院の非常勤医師として在籍して頂く事になりました。医師2名が相次いで大学へ戻る事となり、循環器部門の診療機能が大きく低下したことは否めませんが、水重名

誉院長を含め3名の循環器内科医師が、火曜日午後・水曜日午前・金曜日午前午後非常に非常勤医師として、主に外来診療を担当しておりますので、どうか引き続きご支援のほど宜しくお願いいたします。

朗報もあります。今秋10月から3か月間と短い期間ではありますが、新研修制度が始まって初めての研修医となる、卒後2年目の土居智和先生が、神経内科研修医として着任し、一般診療も含め精力的に研修を行なっています。

以上、今年1年の医師の動きについて紹介しましたが、近年当院の診療機能が大きく変化してきたことも書き添えたいと思います。



言うまでもなく当院診療の柱は、呼吸器疾患に関する専門医療、神経・筋難病に関する専門医療であり、これに糖尿病・内分泌・代謝疾患、消化器疾患、骨・運動器疾患を加えた内科系・外科系診療を展開しています。

数年前まで呼吸器・神経と共に3本柱の一つとして、虚血性心疾患治療を中心として急速に発展を遂げた循環器疾患診療部門は、今年度一つの節目を迎えることになりました。循環器内科常勤医が確保できなくなったことで、診療の軸ともいえるインターベンションについては、専門治療を行っている医療機関に任せる方針とし、当院では当面カテーテル検査による診療に限定して、非常勤医師が中心となって今後も継続していく方針です。

しかし、私の専門分野である、糖尿病・内分泌・代謝疾患は、高血圧・高脂血症・動脈硬化症も含めた分野であり、裏面へ続く



循環器内科と重なる部分も多く、今後ますます重要性を増すと考えており、それらの疾患群の診断・治療・管理といった診療機能を強化して行きたいと考えています。

さて、私が院長を拝命して間もなく4年が経とうとしていますが、その間に地域医療連携を充実させるため、様々な取り組みを行なってきました。

第一に、この広報誌「高松医療センターMedical News」です。年によっても違いはありますが、およそ季節に1回程度の発刊を目指しており、当院の診療機能や診療科の紹介・トピックなどをお知らせしながら、地域の先生方とのつながりを少しでも深めることが出来ればと考えています。また日常的には、当院地域医療連携室のメンバーを中心に先生方のご施設を訪問させて頂き、メディカルニュースだけでは不十分な、リアルタイムの情報や医療連携の詳細、ご紹介いただいた患者様の状況などについてお知らせしながら、顔の見えるお付き合いを続けさせて頂こうと考えています。

次に交流会、「Lien(リアン)高松メディカルサークル」について。常々お世話になっている先生方との連携を深めたいと考え、この交流会を発足させましたが、皆様大変お忙しいにも関わらず、毎回多数の先生方にご参加いただきありがとうございます。交流会は年1回の開催を目指しており、毎回趣向を変えながら、これまでの3年間、何とか継続してまいることが出来ました。これもひとえに

先生方のおかげと感謝しています。

今年度の交流会は、これまでより少し時期が遅くなりますが、年

明けて2月以降の開催を予定しており、改めてご案内を差し上げる所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

また当院では、今年度ホームページをリニューアルいたしました。従来のホームページでは閲覧に不便な部分も多々あり、アクセスもしにくかったため、全面的に見直して全く新しいものに作り変えました。当院の概要・診療体制・病院機能のほか、私が院長として発信してきたことなども掲載しておりますので、お時間のある時に当院のホームページを是非ご覧いただければと思います。

前半部分で述べた事と関連しますが、当院の診療機能を考える上で、呼吸器、神経・筋の各診療部門は、これまで以上の診療を目指すことは言うまでもありませんが、加えて糖尿病・内分泌・代謝、消化器、骨・運動器を含めた内科系・外科系診療部門を充実させるためには、地域医療連携が非常に重要であると考えています。今後、本Medical Newsを通して、当院の診療機能の現状と今後の取り組み・提案などの情報を、出来るだけこまめに先生方へお知らせして行きたいと考えていますので、ご意見・ご要望などありましたら、ご遠慮なくお申し出頂ければ幸甚に存じます。



高松医療センター
院長 細川 等



地域医療連携室より

循環器内科診療につきましては引き続き、外来診療・検査等実施してまいりますので、地域医療連携室にご相談くださいますようお願い致します。

地域医療連携室では、地域の医療機関からご紹介頂きました患者様がスムーズ、かつ安心して診察や検査を受けて頂けるよう診察や検査予約を承っております。

診察や検査予約等、ご不明な点がございましたらお気軽に地域医療連携室までご連絡ください。



独立行政法人 国立病院機構
高松医療センター
〒761-0193
香川県高松市新田町乙8
TEL:087-841-2146 FAX:087-841-2178
URL:<http://www.takamatsu-mc.jp/>

編集後記

12月に入りいろいろと気忙しい時期となりましたが、皆様方におかれましては、くれぐれもご自愛下さい。

これからも高松医療センターをよろしくお願い致します。

発行責任者: 病院長 細川 等 編集責任者: 地域医療連携室